

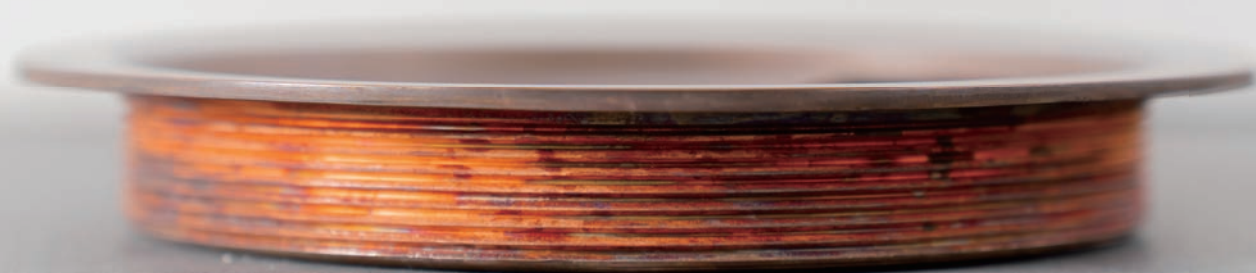


MIYOSHI

銅 ・ 真鍮

Copper

Brass

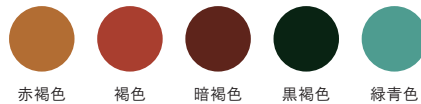


銅・真鍮製品について

※銅の錆は鉄と違い中までボロボロになることはなく、人体には無害同様に安全であると厚生労働省が認定しています。

環境に合わせて色合いが変化します。

銅・真鍮(黄銅)の素地は光沢がありゴールドの様な色合いです。身近な物だと、新しい10円玉(銅)、5円玉(真鍮)はピカピカしていますが、使い込まれたものは光沢がなく茶色(褐色)に変化しています。また、外にいるお地蔵様のお賽銭は緑色になっていることがあります。これは素材の表面が錆びた色です。銅の表面に触れる大気や水分の違いによって、茶色だけでなく橙色、黒色、緑色と様々な色に変化し、使用環境の違いで落ち着く色合いが決まります



銅・真鍮は育てる金属です。

銅・真鍮製品の使いはじめは、その使用環境特有の錆色が出始め、シミ・汚れ・手垢の様に見えてしまい不快に感じてしまう人もいますが、それは本物の銅だからこその特徴です。時間が経てば全体がその使用環境特有の色に落ち着き、さらに使い込むことで深みが増していきます。キズがついたり部分的に錆が落ちることもありますが使っているうちに馴染んでくれます。光沢を維持したい場合は市販のクリーナーでメンテナンスをすることで使い込んだキズなども乱反射でアジのある光沢になります。

銅・真鍮製品は変化するもの。革製品の様に育てる金属をお考えいただければと思います。





